

2020.7.4

令和2年7月豪雨災害記録誌



集落17軒全て浸水した浜川地区 (R2.7.4 撮影)

国土交通省提供



災害後6軒が移転した現在の浜川地区 (R4.11.20 撮影)

発刊にあたって



錦町長 森 本 完 一

令和2年7月豪雨において被災された町民の皆様に改めてお見舞い申し上げます。

また、発災直後より、災害対応にご尽力いただいた関係者の皆様に、心よりお礼申し上げます。

令和2年7月3日から4日早朝、線状降水帯により降り続いた雨は、あっという間に増水し、球磨川と川辺川、鳩胸川が合流する付近ではバックウォーターにより氾濫し、誘致企業ゼンカイミートの1階が浸水。小さで川付近では、堤防を越流した濁流が、くま川鉄道を越え、肥後西村駅周辺住宅を襲い、その勢いは、上流にある浜川地区や上下十日市地区、由留木地区などに迫り、多くの家屋が床上、床下まで浸水しました。

町全体では、床上68戸、床下80戸の住宅浸水被害を始め、道路、林道、河川、農地の冠水など激甚的な被害を受けました。

災害復旧も順調に進み、令和5年2月末現在で水無川橋と農業用施設1箇所、林道27箇所を残すのみとなりました。

令和2年7月豪雨災害から2年7か月が経過し、令和3年3月に公表された球磨川水系流域治水プロジェクトも動き始め、抜本的な治水対策に期待をしているところです。

今回発生した令和2年7月豪雨災害を後世に伝え、今後も起こりうる災害での活動に、少しでも役立てられるようお願い、この記録誌を作成した次第です。

令和5年3月

目 次

第1章 被害の記憶	1	第4章 その他	
第2章 令和2年7月豪雨災害の概要		1. 避難所開設状況及び避難者数一覧	23
1. 気象の状況	5	2. 災害ボランティア活動	24
2. 大雨の状況	6	3. 球磨村被災者の支援	25
第3章 被害の概要		4. 球磨川水系河川整備計画	26
1. 建物被災状況	9	5. 防災訓練	27
2. 各施設等の被災状況	11	6. 過去の水害	28
3. 災害廃棄物処理	20		
4. 令和2年7月豪雨災害に伴う義援金	20		
5. 令和2年7月豪雨災害豪雨被害 (全国版)	21		
6. 当時の新聞掲載記事	22		

■当時の状況

7月3日	17:00	自主避難所開設
	23:41	土砂災害警戒情報発表
	23:57	避難勧告発令
7月4日	4:50	熊本県に大雨特別警報
	5:06	避難指示(緊急)発令
	8:23	球磨川で氾濫が発生(人吉市中青井町)
	17:54	球磨川で氾濫が発生(人吉市中神町)

球磨川一武観測所の水位計

月日	時刻	水位(m)
7月3日	23:00	1.73
	0:30	2.07
7月4日	4:00	4.72
	7:00	5.99

※氾濫警戒水位 4.5m

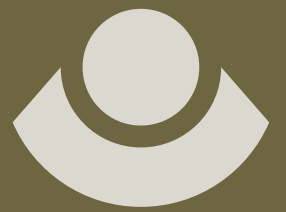
出動した消防団員数

月日	人数
7月4日	181
7月5日	83
7月6日	62
7月7日~12日	のべ116

使用した土のうの数

約 6,000 袋

第1章 被害の記憶



1 西駅通り

錦町へ住んで9年目の出来事でした。その間、自宅裏の田んぼが3回浸水しており、その都度避難準備をしていました。

令和2年7月4日の4回目の今回は、慣れもあつてか避難準備をしておらず、家まで来ないだろうといつものように就寝していました。早朝5時20分、近所の岩本さんの玄関チャイムや電話、扉を叩く音で目が覚めました。

「危ないからすぐ逃げて」シャッターを下ろしていたため、外の状況が分かっておらず、とりあえず家族を起こし準備をして、6時20分に避難所に行きました。

岩本さんから後日聞いた話ですが、この時なかなか玄関が開かなかったとのことで、足が震え、恐ろしかったそうです。命の恩人です。

7時頃家の様子を見に行ったら、消防士の方がこれ以上行くと危険と言われギリギリ行ける肥後西村駅のホームから状況を確認したら、増水の途中だからなのか周りが真っ白で何も見えませんでした。暫く経ってもう一度見た景色は、一面海の様でした。

10時30分頃には何もなかったかのように水は無くなっていました。床上130cm、庭から200cmの浸水だったようです。

外から見る家の状況は洪水前から何も変わっていないように見えたが、玄関を開けた瞬間、散乱した物と臭いのある土であふれかえっていました。座敷の畳とリビングのソファは、水で引き水でそのまま下がったようです。キッチンも固定していない物は全て倒れ、冷蔵庫の中には泥が入っていました。他の部屋は、足の踏み場が無く、廊下には泥と部屋の扉で歩かず、どう片づけたらいいのか分かりませんでした。

庭から測って200cm 平屋の家では避難する場所が無いため、近所の方が声をかけてくださらなかったら死んでいたかもしれません。椎葉家に関わってくださった方々本当にありがとうございました。



椎葉 隆明さん



新築後の写真



浸水後の部屋及び倉庫の状況



2 一武浜川

発災時は、7月4日午前8時頃球磨川が増水し、近くの水門からのバックウォーター現象も重なり、17戸の浜川集落全戸に水が流れ込んでくる事態となりました。ただ「逃げなくてはいけない!」という思いで避難しました。

その日の夕方、自宅近くから見る光景は、集落全てが浸水し、水が川のように流れていました。近隣の住民と言葉も無く呆然と立ち尽くしていたことを覚えています。水に浸かり、見るに無惨な状態でした。2日後、家の中に入ると、畳が浮き上がり、物が濡れ、家中散乱していました。それを見た直後は、これから先どうなるんだろうという不安だけでした。

倉庫の中の車、トラクター、田植機、タバコ乾燥室、圧縮機など全ての農機具が冠水してしまい、もう農業は出来ないだろうと思いました。これからの生活をどうやっていこうか心配と不安ばかりが募りました。最初は、家の中の品々を外に出し洗浄したり、保健師の方の指導で、消毒や健康管理・心の管理、ボランティアの方々による掃除、ゴミ処理等、先の見えない日々の片付けに追われました。何度も夫婦で夜になると農業をどうするか、辞めて勤めに出るしかないという話をしていました。しかし、国・県・町、そして多くの方々の温かい支援の中で「やはり、農業者としてこの土地を守り、次世代に繋げていくためにも、もう一度葉タバコを作りたい」という気持ちが芽生え、再建に向けて進みだすことを決心しました。

現在、自宅も再建し、タバコ田では今年も無事に収穫を終え、平穏な日常を取り戻すことができています。田の土壌も元に戻り始めたことを感じています。

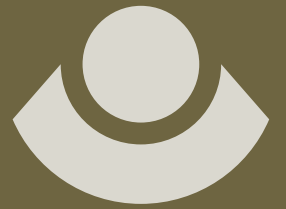
再建に関わっていただいた皆様に日々感謝しながら、これからも農業を続けていくつもりです。



西嶋 健一・利恵さん



被災した倉庫・農機具・葉タバコ



3 一武浜川 古川 明史さん

朝に浸水し始めた頃は仕事のため家にいませんでした。妻と子どもたちは妻の実家に避難。15時頃に帰った時にはまだ水は引いていませんでした。

地区長をしていたため、周りから色々と情報が欲しいと尋ねられるもの自分も知らないことばかりで困りました。

メディアでは人吉市や球磨村の報道が中心でしたが、人づてにこの地区の被害を聞いて物資を持ってきてくださる人もいて有り難かったです。

当時は2階で生活。家具や家電も十分に揃っておらず、通常の生活に戻るには時間がかかりました。



一武浜川地区の浸水状況

4 木上下十日市

令和2年7月4日、昨夜から降り続く雨、早朝になっても止む気配がなく、目が覚める5時頃、起床し外に出ると、球磨川方向の（通称岩下）水田まで、浸水しており、今までに経験したことない異常な光景を感じた私は、隣近所に「危なかばい、起きとるな」声をかけたのを覚えています。

その後、不安は的中し、自宅の庭まで浸水が始まり、気付くと地元の消防団員が数名、来ていただいていたので、直ぐに自宅への浸水を防ぐため玄関に土嚢をお願いしました。土嚢が積まれましたが、浸水の早さは凄まじく、浸水は進みます。米倉庫の米を倉庫2階までお願いし、何かを運んでもらいましたが、消防団員の皆さんも、それどころではない状況だと感じとられ、避難するように促されました。同居していた嫁と帰省中の孫娘は、「2階に避難するから大丈夫。」と言い残し、用意されていたボートに私と妻は、公民館に避難することになりました。公民館には、集落の高齢者の住民が避難をしていて、なじみの顔に安堵と不安が入り混じった感覚を覚えています。しかし、そこにも浸水が迫っていました。



寺田 幸一さん

公民館（下十日市公民館）から高台の公民館（山下公民館）に避難をしなければならない状況でした。消防団員の誘導で、避難することになりましたが、ボートは別の救出に行ったらしく、ここにはありません。私達は避難を始めました。膝付近まで増水している道を、歩ける私達はガードレールに掴まりながら進みます。歩くことが出来ない不安な高齢者は家族や、消防団員がおんぶで歩きます。

私を含め高齢者の避難者は、皆必死でした。やっとの思いで、山下公民館に到着し、避難した皆と安堵しました。しかし、家に残った嫁と孫のことが気になりました。大丈夫だろうか。連絡手段もなく不安が募ります。

後に、避難しながら、家の大事な貴重品や、車両の移動、家族同様のペットの救出をしていてくれたことを聞きました。家を守ってくれたことに感謝でした。

また、今回の豪雨災害で、集落の家屋や農機具の損害は、多大なものでした。しかし、集落では、幸いにも人的被害がなかったことは、運が良かったのかもかもしれません。人的被害があってもおかしくないと感じています。

高齢化が進んでいる集落で、この経験を踏まえて感じたのは、「まだ、大丈夫やろ!」ではなく、早めの避難をしなければならないと改めて思っています。このような災害が二度と起きないことを祈りつつ・・・

最後に、被災した集落で、多くの援助をいただいたことで落ち込む私達を支えてくれたのが、支援してくれた皆さんでした。復興に向けて、力と勇気を与え、前に進めることができました。人の心温かさが身に染みしました。本当に感謝の気持ちは一生忘れません。



自宅庭の浸水状況



自宅の浸水状況



1 気象の状況

令和2年7月3日に東シナ海の梅雨前線上に低気圧が発生し4日未明には九州北部地方に進んできました。低気圧の東進に伴って3日夜には梅雨前線が九州北部地方まで北上、低気圧や前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、九州では大気の状態が非常に不安定となりました。

このため、熊本県では4日未明から朝にかけて、県の南部を中心に記録的な大雨となりました。

天気図・衛星画像・雨量分布

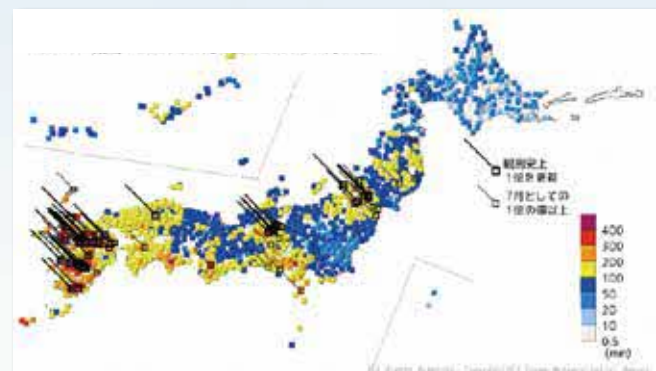


7月4日 9時

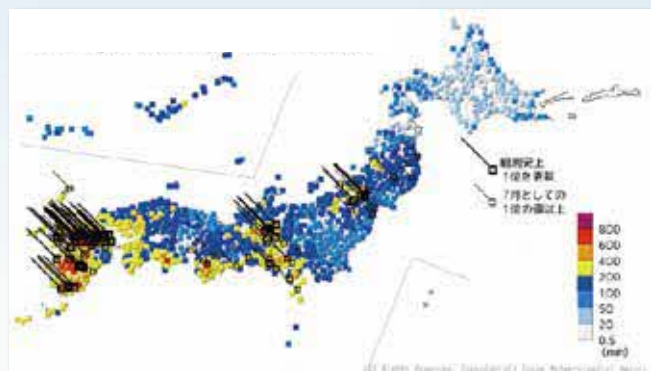
7月4日 9時

7月4日 日降水量

九州南部・北部地方、東海地方と東北地方の多くの地点で、7月3日から31日までの24・48・72時間降水量が観測史上1位の値を超えました。



24 時間降水量の期間最大値の分布図
(7月3日0時～7月31日24時)



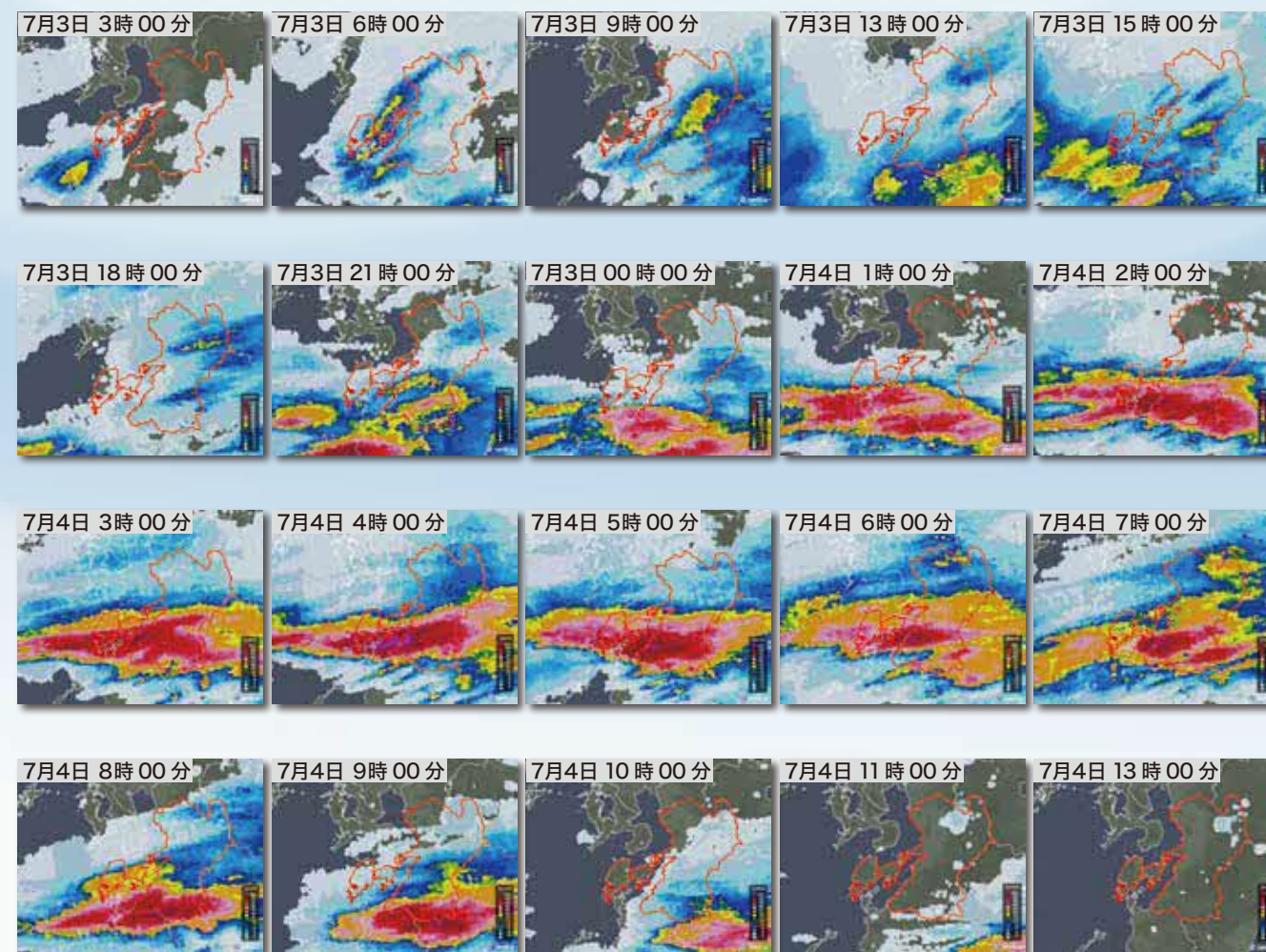
72 時間降水量の期間最大値の分布図
(7月3日0時～7月31日24時)

2 大雨の状況

4日未明から朝にかけて県の南部を中心に局地的に猛烈な雨や非常に激し雨が降り、芦北町付近では3時20分に約110ミリの猛烈な雨を解析し、気象庁は記録的短時間大雨情報を発表しました。その後も天草市、芦北町、津奈木町、人吉市、あさぎり町、球磨村、八代市付近で1時間に約110ミリから120ミリ以上の猛烈な雨を解析し、記録的短時間大雨情報を発表しました。また、4日4時50分に大雨特別警報が球磨地方に発表されました。

この大雨で1時間降水量では牛深(天草市)の98.0ミリを含む2地点、3時間降水量では牛深(天草市)の205.5ミリを含む7地点、6時間降水量では田浦(芦北町)の325.5ミリを含む9地点、12時間降水量では水俣(水俣市)の415.0ミリを含む9地点、24時間降水量では湯前横谷(湯前町)489.5ミリを含む7地点、48時間降水量では多良木(多良木町)の418.5ミリが観測史上1位の値を更新しました。

気象レーダー画像(7月3日3時～4日12時)熊本県



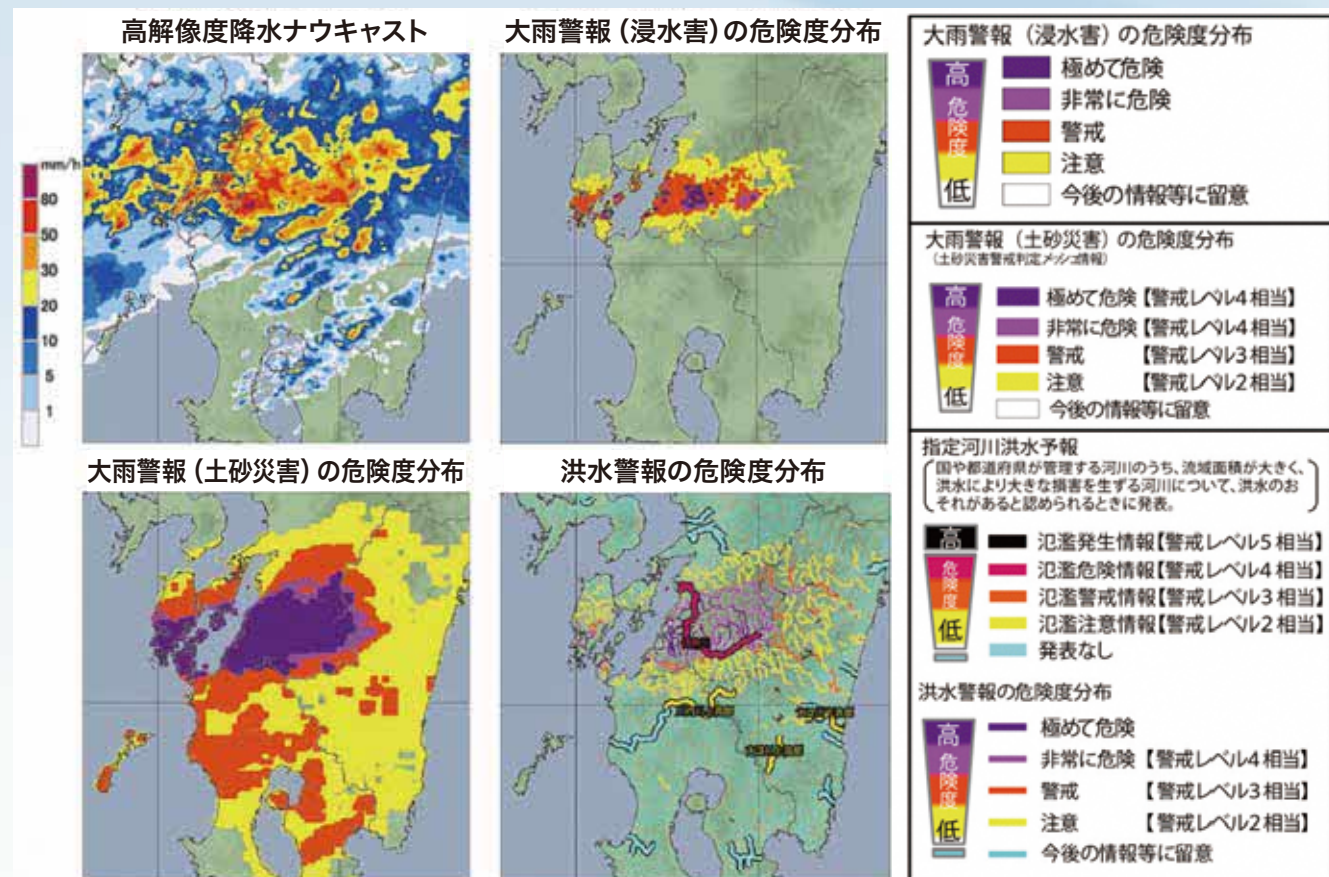


記録的短時間大雨(解析雨量)

- 4日03時20分までの1時間: 芦北町付近で約110ミリ
- 4日03時30分までの1時間: 八代市付近で約120ミリ、八代市坂本町付近で約110ミリ、球磨村付近で約110ミリ、芦北町付近で120ミリ以上、天草市御所浦付近で約110ミリ、津奈木町付近で約110ミリ
- 4日06時00分までの1時間: 芦北町付近で約110ミリ
- 4日06時30分までの1時間: 芦北町付近で120ミリ以上、球磨村付近で約110ミリ
- 4日08時30分までの1時間: 人吉市付近で約110ミリ、球磨村付近で約110ミリ、あさぎり町付近で約110ミリ

(提供: 熊本地方気象台)

熊本県、鹿児島県に大雨特別警報を発表した直後の危険度分布(7月4日5時)



観測雨量

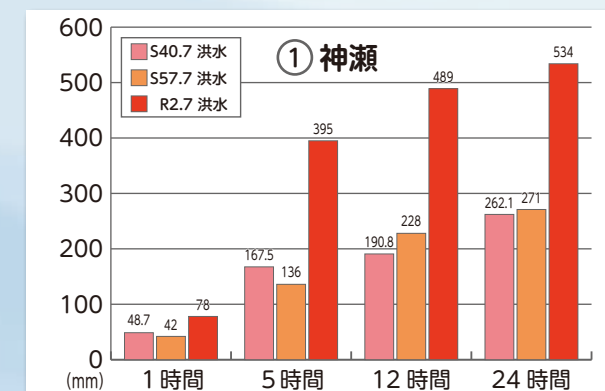
7月3日から7月31日にかけての断続的な豪雨により、球磨川本川の中流部から上流部と、最大支川である川辺川の各雨量観測所における6時間・12時間・24時間の降雨量は、観測史上最大を記録しました。

特に7月3日から4日の2日間で時間雨量30mmを超える激しい雨が降り続き、人吉雨量観測所では7月平均雨量471.4mmに対して2日間で410mmが観測されるなど、7月の平均雨量約1ヶ月分が集中して観測される豪雨が発生しました。

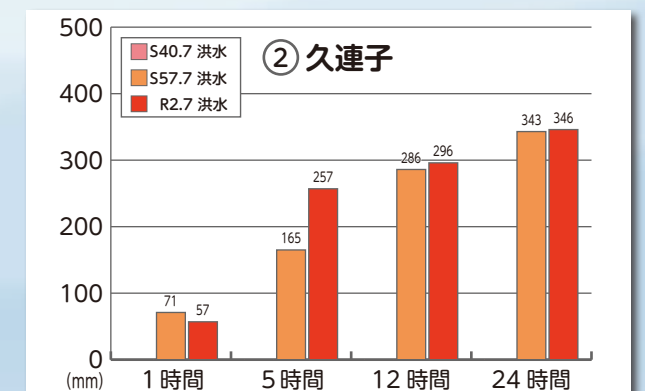


球磨川流域地図

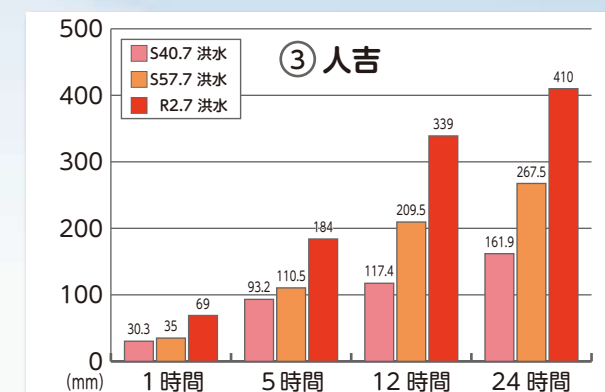
観測雨量の比較



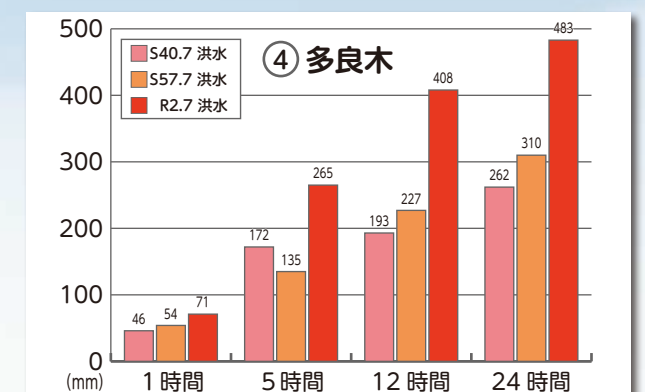
※S29.4の観測開始以来最大の雨量を観測



※S55.4の観測開始以来最大の雨量を観測



※S18.1の観測開始以来最大の雨量を観測



※S29.5の観測開始以来最大の雨量を観測



1 建物被災状況

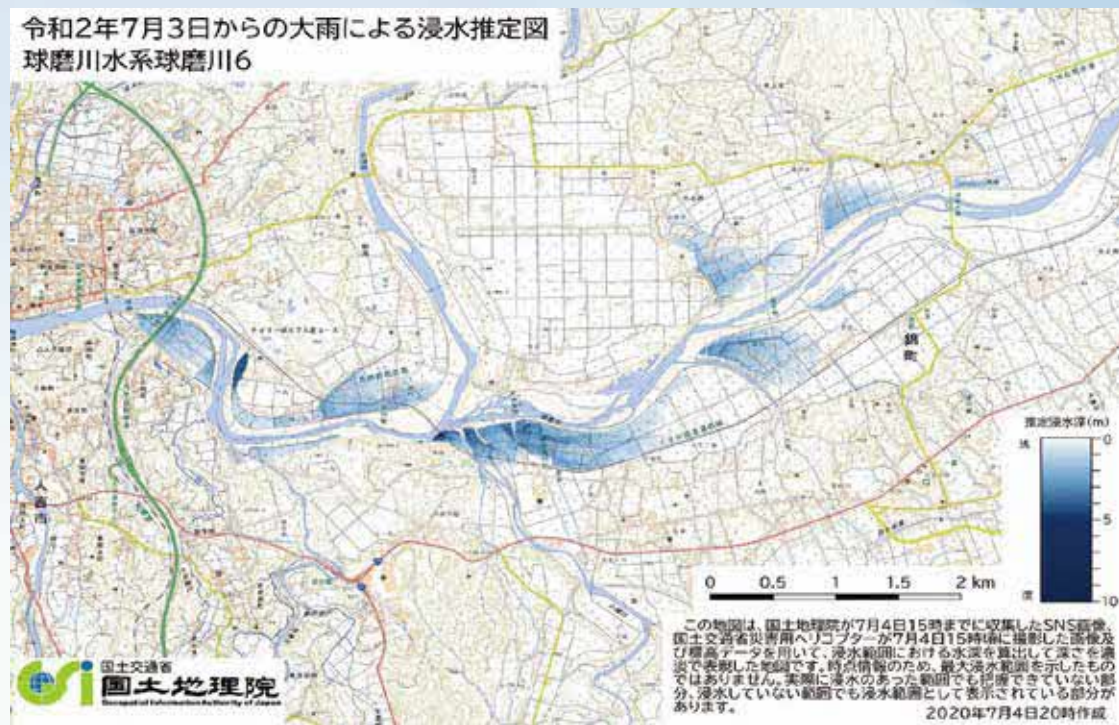
床 上		床 下		がけ崩れ	
68		80		2	
内 訳		内 訳		内 訳	
大規模半壊	13	一部損壊	80	全 壊	1
中規模半壊	21			一部損壊	1
半 壊	30				
一部損壊	4				



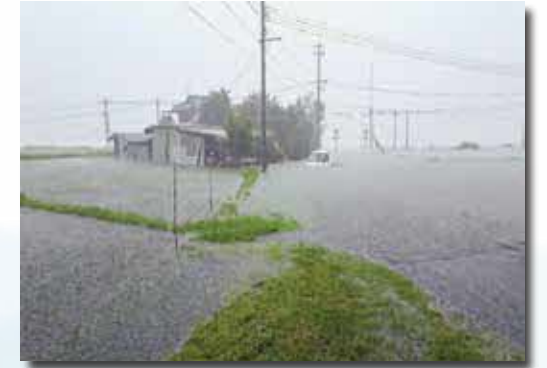
西駅通り(椎葉隆明さん宅の床上浸水後)



木上下十日市(寺田幸一さん宅の床上浸水)



西一丸



西中福良



西下須(くま川鉄道北側)



西駅通り(町道山江錦線)



一武浜川



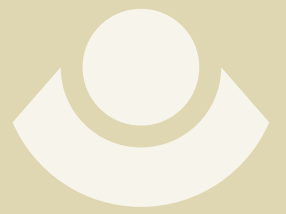
木上十日市(町道錦中央線)



木上下十日市



木上由留木



2 各施設等の被災状況 (町道、河川、橋梁、林道、治山、農地、農作物、農機具)

災害復旧工事

道 路			河 川			橋 梁		
路線数	箇所数	被害額 (千円)	河川数	箇所数	被害額 (千円)	橋梁数	箇所数	被害額 (千円)
10	11	199,774	6	19	224,166	1	1	423,940

災害応急工事

道 路			河 川			その他 (町有地等)		
路線数	箇所数	被害額 (千円)	河川数	箇所数	被害額 (千円)	路線数	箇所数	被害額 (千円)
60	79	34,366	10	17	11,995	30	36	42,241



柳田川 (西大正地区)



復旧後



町道風月野線 (西久保宇野地区)



復旧後



志戸内川 (一武中島地区)



復旧後



汁谷川 (一武忠ヶ原地区)



復旧後



水無川橋 (一武福島地区)



復旧中 (被災橋梁撤去)



県道高原線 (木上覚井地区)



復旧後



県道人吉水上線 (木上荒田地区)



復旧後



町道平川森線 (木上平川地区)



復旧後

第3章 被害の概要



林道・治山

林道			治山	
路線数	箇所数	被害額(千円)	箇所数	被害額(千円)
10	136	249,949	20	884,000



林道嶽の川内線



林道戸平谷線



林道志戸内線



林道志戸内線



林道尾谷線



林道尾谷線



林道汁谷線



林道汁谷線



治山 西大谷



治山 西迫田



治山 木上南大平

林道・治山



農地

農地

田			畑		
面積(ha)	箇所数	被害額(千円)	面積(ha)	箇所数	被害額(千円)
130	450	750,000	5	20	40,000

農業用施設

頭首工			水路			揚水機		
延長(m)	箇所数	被害額(千円)	延長(m)	箇所数	被害額(千円)	延長(m)	箇所数	被害額(千円)
150	8	120,000	8,450	54	60,000	100	5	60,000

農道			農地保全		
延長(m)	箇所数	被害額(千円)	延長(m)	箇所数	被害額(千円)
600	8	30,000	120	4	2,000



西字溝の下



復旧後



西字井手の下



復旧後



西字田島



復旧後



一武字山下



復旧後



西字釜場(農道)



復旧後



西一丸(揚水機)



復旧後



新田頭首工 (H24.7.10 撮影)



土砂で埋まったままの新田頭首工(復旧中)

農地

第3章 被害の概要



農作物・農機具

農作物			農機具	
品目	面積等	被害額(千円)	件数	被害額(千円)
水稻	20ha	21,238	349	369,759
葉タバコ	9ha	41,287		
ミシマサイコ	0.2ha	654		
しょうが	0.7ha	6,156		
種採タマネギ	0.2ha	3,000		
飼料用米・稲	25.3ha	5,322		
飼料ロール	1,200個	6,380		
計		84,037		



自転車道に流れ着いた飼料ロール



西駅通り(採種タマネギ)



一武土屋(水稻)



一武浜川水田の冠水状況



木上目郎(飼料ロール)



西一丸(葉タバコ)



一武覚井(水稻)



一武浜川(葉タバコ)



一武浜川(飼料ロール)



葉タバコ乾燥機



マルチはぎ機



葉タバコ作業管理機



テンパリング乾燥機



トラクター



コンバイン



ロールベラー



葉タバコ梱包機



田植機

農作物・農機具



ゼンカイミート（株）

被害額(千円)

建物	設備什器	商品	その他	合計
349,940	200,632	75,758	24,491	650,821



加工棟から本社



本社から直売所・加工所



係留所付近



枝肉廃棄処理



資材庫内部



製品庫内部



直売所内部



ゼンカイミート(株)再建 (令和5年2月撮影)

3 災害廃棄物処理

品目	数量	単位	処理費
木くず	437	t	78,293,180円
可燃ごみ	273	t	
コンクリートがら	5,353	t	
建設ごみ	283	t	
金属くず	533	t	
家電4品目	401	台	
その他	1,020	t	
合計	7,899	t	

公費解体・自費解体費	
17件	170,263,499円

その他
147,370,191円

総事業費
395,926,870円



一武中学校跡地置き場

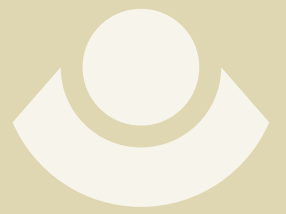


武道館裏置き場

4 令和2年7月豪雨災害に伴う義援金

多くの皆様から暖かいご支援を頂きましたことに深く感謝申し上げます。

228件	12,892,640円
------	-------------



5 令和2年7月豪雨被害（全国版）

都道府県	人的被害					住家被害					
	死者 人	行方不明者 人	負傷者		合計 人	全壊 棟	半壊 棟	一部破損 棟	床上浸水 棟	床下浸水 棟	合計 棟
			重傷 人	軽傷 人							
青森県					0					1	1
岩手県					0				1	28	29
秋田県					0			3	10	77	90
山形県			1		1	1	62	7	150	555	775
福島県				1	1					26	26
群馬県					0			1			1
埼玉県					0			77		2	79
千葉県					0					2	2
東京都					0				3		3
神奈川県				1	1			6	1	9	16
新潟県					0				3	49	52
富山県	1				1					1	1
福井県					0					3	3
山梨県					0					4	4
長野県	1		2		3		1	4	5	109	119
岐阜県			1	1	2	6	36	85	31	304	462
静岡県	1				1		2	41	12	59	114
愛知県					0		1	8		20	29
三重県					0			9	7	8	24
滋賀県					0				1	12	13
京都府				2	2		1	7		29	37
大阪府					0			4		1	5
兵庫県					0	2			4	1	7
奈良県					0				1	2	3
和歌山県				1	1			3		6	9
島根県					0	2	40	3		52	97
岡山県					0		1			17	18
広島県	2		2	1	5	1	11	15	4	111	142
山口県					0		4			17	213
徳島県					0	1					1
愛媛県	2			1	3	1	2	34	5	67	109
福岡県	2		5	4	11	14	992	977	681	1,920	4,584
佐賀県				3	3	2	9	7	25	144	187
長崎県	3		1		4	4	3	4	124	136	271
熊本県	65	2	10	34	111	1,490	3,092	1,940	329	561	7,412
大分県	6		1	1	8	68	209	202	129	469	1,077
宮崎県					0	4	3			2	22
鹿児島県	1			4	5	25	35	66	136	300	562
合計	84	2	23	54	163	1,621	4,504	3,503	1,681	5,290	16,599

内閣府資料

6 当時の新聞掲載記事



令和2年7月5日 熊本日日新聞



令和2年7月4日 人吉新聞



1 避難所開設状況及び避難者数一覧

		7月4日 (土)	7月5日 (日)	7月6日 (月)	7月7日 (火)	7月8日 (水)	7月9日 (木)	7月10日 (金)	合計
福祉センター 開設 7月 3日 午後 5時15分 閉鎖 7月29日 午後 5時30分	世帯数	33	10	14	11	9	5	6	88
	人数	79	26	32	25	21	11	10	204
西コミュニティセンター 開設 7月 4日 午前 5時00分 閉鎖 7月 8日 午後 1時00分	世帯数	5	2	8	4	3	-	-	22
	人数	16	2	11	5	4	-	-	38
木上コミュニティセンター 開設 7月 4日 午前 5時00分 閉鎖 7月 4日 午前 8時45分	世帯数	-	-	-	-	-	-	-	0
	人数	19	-	-	-	-	-	-	19
木上小学 開設 7月 4日 午前 5時00分 閉鎖 7月 8日 午後 1時00分	世帯数	30	4	3	4	3	-	-	44
	人数	68	8	8	15	11	-	-	110
西小学校 開設 7月 4日 午前 9時00分 閉鎖 7月 4日 午後 1時30分	世帯数	3	-	-	-	-	-	-	3
	人数	4	-	-	-	-	-	-	4
勤労者体育センター 開設 7月 4日 午前 8時00分 閉鎖 7月 4日 午後 1時30分	世帯数	28	-	-	-	-	-	1	29
	人数	82	-	-	-	-	-	1	83
世帯数合計		99	16	25	19	15	5	7	186
人数合計		268	36	51	45	36	11	11	458

勤労者体育センター ▷ ※閉鎖以降は、球磨村の避難者を受入れ可能な状態で町内の方の避難もあった。
木上コミュニティセンター ▷ コミセン裏の斜面が崩れたため木上小へ（19名） ※午前9時8分移動完了

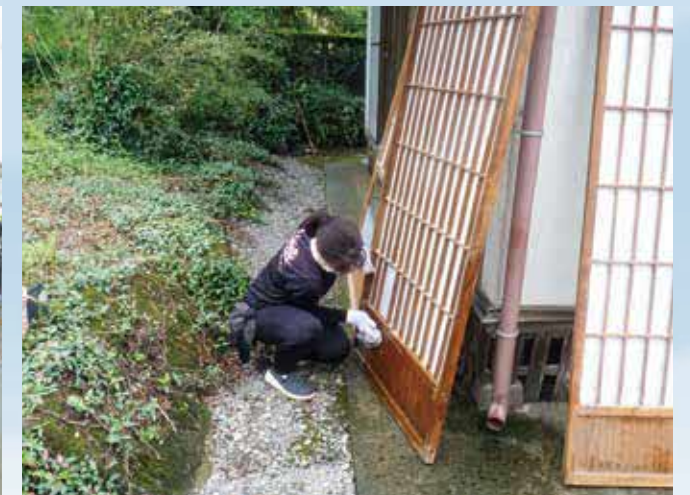
災害対策本部 設置 7月 4日 4:50AM
閉鎖 7月29日 5:30PM

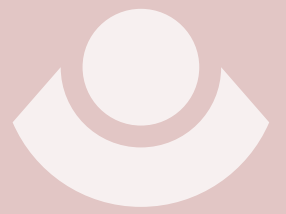
2 災害ボランティア活動

～多くのボランティアのご協力、ありがとうございました～

錦町社会福祉協議会では、総合福祉センターを拠点に、7/12～7/23までの期間災害ボランティアセンターを設置しました。

	7/12	7/13	7/14	7/15	7/16	7/17	7/18	7/19	7/20	7/21	7/22	7/23
参加人数	43	13	2	4	4	0	休止	休止	0	2	0	閉所





3 球磨村被災者の支援

令和2年7月豪雨で被災された球磨村の方々に対しまして、熊本県による、応急仮設住宅が大王原公園に建設されました。

団地名称 球磨村大王原公園仮設団地
 建設戸数 23棟 88戸
 住宅構造 木造



令和5年1月末で24戸が入居中、今後の活用が検討されています。

【入居者の一言】

球磨村大王原公園仮設団地に入居されている中の一人として。令和5年は球磨村でも災害公営住宅が完成し、小規模住宅の工事や宅地造成工事も始まります。被災された皆様の生活再建が更に進み、村全体の生活が少しでも被災前に戻れるよう頑張っています。

ここまで耐える事が出来たのも、大王原公園仮設団地の建設に携わっていただいた熊本県、また、建設用地を提供いただいた錦町の皆様の好意を肝に銘じ心より感謝申し上げます。

行政の行動が早ければ早いほど被災者は生活再建のための選択肢が広がりスムーズに次に進める事を痛感しました。我々は感謝する気持ちを忘れてはいけません。

令和5年3月
 球磨村村議会議長 舟戸 治生

4 球磨川水系河川整備計画 (抜粋)

球磨川水系河川整備計画においては、球磨川を中心とした「緑の流域治水」が令和2年7月豪雨によって甚大な被害を受けた球磨川流域の「創造的復興」を成し遂げるとともに、「創造的復興」の先も見据え、「安全・安心な暮らし」と「球磨川流域の豊かな恵み」を次世代にしっかりと引き継ぎ、流域全体の持続可能な発展につながるよう、全力をあげて以下の基本理念に則り、河川整備に取り組んでいきます。

【基本理念】

「緑の流域治水」による、球磨川流域における「命と環境の両立」「令和2年7月豪雨からの復旧と創造的復興」「持続可能な発展」の実現





5 防災訓練 防災意識の高揚を図る 期日：令和4年11月20日(日)

地震・風水害などの各種災害に対応するため、錦町・防災関係機関相互の連絡、協力体制の確立と防災技術の向上を目的として防災訓練を行いました。



訓練風景



防災ヘリへの給水訓練



防災ヘリでの消化訓練



約1kmにも及ぶ中継訓練



球磨中央高校生徒も訓練に参加



校区毎に分かれ炊出し訓練

6 過去の水害

昭和40年7月洪水



人吉市九日町の浸水状況



人吉市青井町の浸水状況

昭和57年7月洪水



人吉市相良町の浸水状況



人吉市宝来町の浸水状況

梅雨前線が停滞し、6月28日頃から丸4日間長雨が続いたため、球磨川流域で相当量の降雨を記録しました。その後、前線の活動が活発になり、7月2日深夜から7月3日早朝にかけて集中豪雨により、上流から下流に至るほぼ全川で、甚大な浸水被害が発生しました。

昭和40年7月洪水の概要

被害の概要 (戸)			最大流量	
家屋損壊・流失	床上浸水	床下浸水	人吉	横石
1,281	2,751	10,074	約 5,700	約 7,800
流域平均雨量 (横石上流域)			171.6mm / 12h	

人吉市街部では引堤や特殊堤による整備がほぼ完了していましたが、これを超えて氾濫が発生しました。被害は人吉市及び中流部(球磨村、坂本村(現八代市))、芦北町を中心に発生しました。

昭和57年7月洪水の概要

被害の概要 (戸)			最大流量	
家屋損壊・流失	床上浸水	床下浸水	人吉	横石
47	1,113	4,044	約 5,500	約 7,100
流域平均雨量 (横石上流域)			240.5mm / 12h	



熊本県錦町
企画・製作 錦町役場総務課
〒868-0392 熊本県球磨郡錦町大字一武1587番地
TEL 0966-38-1111
FAX 0966-38-1575
MAIL syoubou@nishiki.kumamoto.jp
印刷 町田印刷